



2ハンドル混合栓

取扱施工説明書

施工・使用前に必ずお読みください。

お読みになったあとは、いつでも見られるところに必ず保管してください。

このたびは、2ハンドル混合栓をお買い求めいただき、まことにありがとうございました。

施工の前に…。

- 温泉水・中水・飲用不可な井戸水には使用しないでください。
- 元止式湯沸器には使用しないでください。
- 給湯に蒸気を使用しないでください。

使用圧力条件について…。

- 給水圧力が0.75MPaを超える場合は、市販の減圧弁で0.2MPa程度に減圧してください。
- 給水・給湯圧力は圧力差があると、温度調整がしにくくなります。やけど防止のため、給水圧力は、給湯圧力より必ず高くするか、同圧になるようにしてください。
- * 電気温水器と組み合わせる場合は、特にご注意ください。
- 給水・給湯にて圧力差がある場合は、市販の減圧弁を設けるか、湯側・水側のクランクを「水量調節弁付きクランク(別売)」に交換し、水量を調節してください。
- * 減圧弁、水量調節弁付きクランクにて調節しても温度調整が容易でない場合は、サーモスタット水栓のご使用をおすすめします。

安全上のご注意

施工・使用される前に、この「安全上のご注意」をよくお読みのうえ、正しく使用ください。

ここに示した注意事項は、状況によって重大な結果(傷害・物損)に結び付く可能性があります。いずれも安全に関する重要な内容を記載していますので、必ずお守りください。

注意 取扱いを誤った場合に、使用者が軽傷を負うか、または、物的損害が発生する危険な状態が生じることが想定されます。

お守りいただく内容の種類を、次の絵表示で区分し、説明しています。

- ⊘ してはいけない「禁止」を示します。
- ⚠ 必ず実行していただく「強制」を示します。
- ⚠ 気をつけていただきたい「注意」を示します。
- 🚫 接触禁止を示します。

施工上のご注意

⊘ 禁止	<ul style="list-style-type: none"> ● 湯と水を逆に配管しないでください。やけどや器具破損の恐れがあります。 ● 給湯温度は85℃以上で使用しないでください。85℃より高温で使用されますと、製品の寿命が短くなるだけでなく、各部品の変形や破損により漏水を起こし、家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。 ● 製品にもたれるなどして無理な力を加えたり、大きな衝撃を与えたりしないでください。ケガをしたり、製品の変形や破損により漏水を起こし、家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。
⚠ 必ず実行	<ul style="list-style-type: none"> ● 配管内の、ゴミや砂などは完全に洗い流してください。 ● 給湯機からの配管は、配管圧力損失を少なくするため最短距離で配管し、必ず保温材を巻いてください。 ● 各部の接続を行う際は、パッキンがついていることやそれらに破損・変形がないか必ず確認をしてください。漏水を起こし、家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。 ● 凍結が予想される場合は、配管と水栓の水抜操作を同時に行ってください(寒冷地仕様)。凍結破損により漏水し、家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。
⚠ 注意	<p>他所の水栓の使用などにより水圧変動が起こり、湯をご使用中に湯温が急上昇することがあります。やけどの恐れがありますので、やけどの恐れがないところまで水圧変動をおさえた配管設備にしてください。</p>

使用上のご注意

⊘ 禁止	<ul style="list-style-type: none"> ● 給湯温度は最高85℃まででお使いください。誤った操作によるやけどを防止するため、給湯温度は60℃程度をおすすめします。 ● 切替シャワーには60℃以上の湯を通さないでください。切替シャワーの変形や破損により、やけどやケガをする恐れがあります。やけどを防止するため、45℃程度以下をおすすめします。 ● 製品にもたれるなどして無理な力を加えたり、大きな衝撃を与えたりしないでください。ケガをしたり、製品の変形や破損により漏水を起こし、家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。
⚠ 必ず実行	<ul style="list-style-type: none"> ● ハンドルはゆっくり操作してください。ハンドルを急に閉めると、配管に衝撃が加わり、配管からの漏水を起こし、家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。 ● 湯をご使用の際は、水側ハンドルから開栓してください。その後ゆっくり湯側ハンドルを開栓し、好みの温度に調節してください。湯側ハンドルを先に開栓すると高温の湯が出て、やけどをする恐れがあります。 ● 湯をご使用後は、必ず水側ハンドルを開栓し、しばらく水を流してから止水してください。次に使用する際に、水栓内に残っている高温の湯が出て、やけどをする恐れがあります。 ● 可動部分が固くて動きが悪い場合は、水あか固着や潤滑剤切れです。放置すると故障の原因になりますので修理を依頼してください。 ● 凍結が予想される場合は、配管と水栓の水抜操作を同時に行ってください(寒冷地仕様)。凍結破損により漏水し、家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。
⚠ 注意	<ul style="list-style-type: none"> ● 湯側ハンドルのみを開く場合、高温の湯がそのまま出ます。取扱いには十分ご注意ください。 ● 小さいお子様だけのご使用は避けてください。やけど、ケガをする恐れがあります。 ● 他所の水栓を同時使用されると、やけどの恐れがありますのでご注意ください。同時使用により水圧変動が起こり、湯の使用中に湯温が急上昇することがあります。
🚫 接触禁止	<p>高温の湯をご使用の際は、水栓の左側および吐水口(パイプ)に直接肌を触れないでください。水栓の左側および吐水口(パイプ)は高温になっているため、やけどをする恐れがあります。</p>

施工に必要な工具

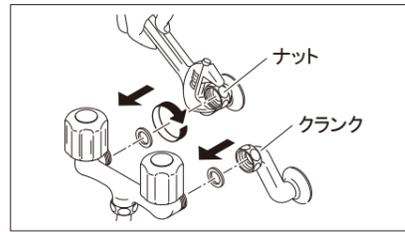
- モンキーレンチ
- シールテープ
- ウォーターポンププライヤー
- 六角レンチ



取付けの前に

* 数秒間水を流し、配管内のゴミなどを洗い流してから、元栓を開けて取付作業を行ってください。

1. 古い混合栓本体を取外します。



「レンチ」などで、クランクと混合栓本体を固定しているナットを右方向(時計まわり)にまわして、クランクから混合栓本体を取外します。



注意 混合栓本体は、重量があります。落下などに十分注意して作業を行ってください。

2. 壁からクランクを取外します。



安全のため、固定されているクランクにタオルをあて、両手で左にゆっくりまわして取外します。
* 壁内のザルボがゆるまないように、ご注意ください。ゆるんでしまった場合は、「●ザルボが外れた場合の対処方法」を参考に対処してください。

●ザルボが外れた場合の対処方法

《六角レンチがある場合》	《六角レンチがない場合》
<p>① ザルボを「プライヤー」などではさみ、クランクから取外します。</p>	<p>① ザルボを「プライヤー」などではさみ、クランクから取外します。</p>
<p>② 次にザルボのネジ部のゴミを取除き、取付方法 2の要領でザルボのネジ部にシールテープを巻付けます。</p>	<p>② お求めいただいたクランクのネジ部に座金を取付けた後、取付方法 2の要領でシールテープを巻付けます。</p>
<p>③ ザルボを壁の中にねじ込み、「六角レンチ」で締付けます。</p>	<p>③ ザルボを「プライヤー」などでクランクのネジ部に取付けます。</p>
<p>④ クランクにザルボを取付けた状態で、取付方法に進んでください。</p>	
<p>* この作業を行った場合、取付方法 文中の「クランクのネジ部」は、「ザルボのネジ部」となります。ご注意ください。</p>	

注意 ● ザルボの取付けは、確実に行ってください。壁の中ですので、漏水が発生した場合の確認が困難になります。
● ネジで手を切る場合がありますので、十分ご注意ください。

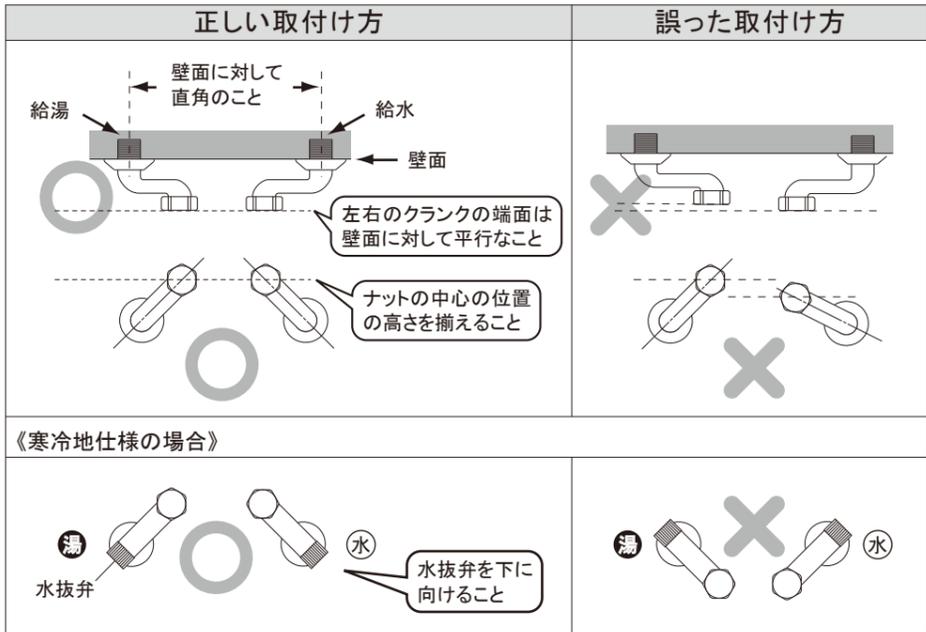
3. ザルボ内のネジ部の掃除をします。



注意 ネジ部にシールテープや接着剤が残っていると、漏水や混合栓の故障の原因になります。必ずネジ部の掃除をていねいに行ってください。

取付方法

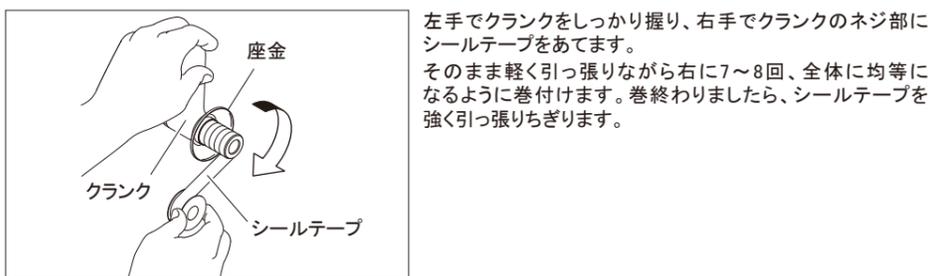
1. クランクの位置を確認します。



本品のクランクをそのまま壁に取付け、ナットの端面が図のように壁面に対して平行であり、ナットの中心の位置がそれぞれ同じ高さになる時の、クランクの回転数を確認して覚えておきます。

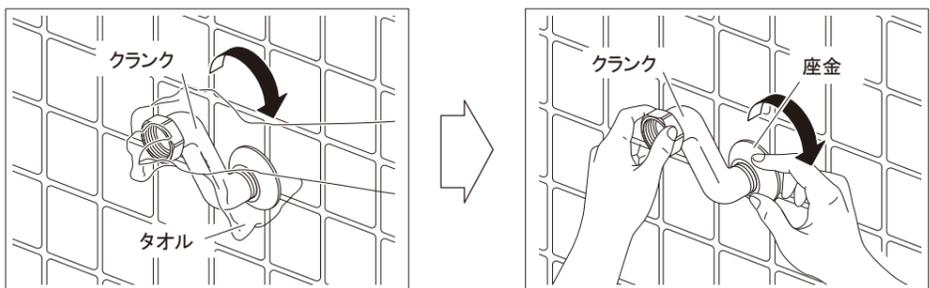
注意 (寒冷地仕様の場合) クランクの取付状態を誤りますと、水抜きが出来なくなります。ご注意ください。

2. クランクのネジ部にシールテープを巻付けます。



左手でクランクをしっかり握り、右手でクランクのネジ部にシールテープをあてます。そのまま軽く引っ張りながら右に7~8回、全体に均等になるように巻付けます。巻終わりましたら、シールテープを強く引っ張りちぎります。

3. クランクを取付けます。



①クランクにタオルをあて、あらかじめ確認した回転数より、1回少ない回転数まで右にまわして締付けます。
②締め終わりましたら座金をまわし、壁に密着させます。

注意 クランクを取付ける際、逆方向にまわしてゆるめると漏水の原因になります。もしもゆるめてしまった場合は、もう一度 **取付方法** 2.からやり直してください。

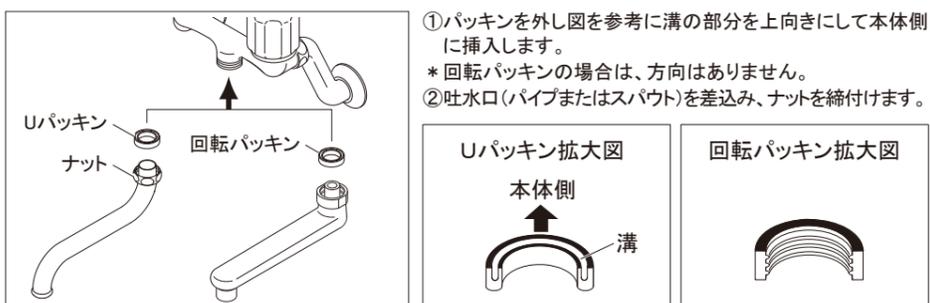
4. 混合栓を取付けます。



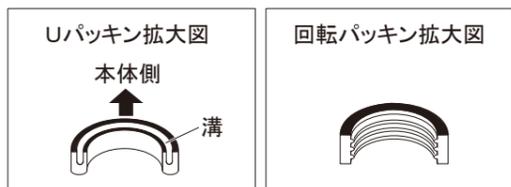
クランクのナットにクランクパッキンをはめ込み、混合栓本体をクランクに取付けます。次に「レンチ」などでナットを左右均等にしっかりと締付け、混合栓本体をクランクに固定します。

注意 混合栓本体は、重量があります。落下などに十分注意して作業を行ってください。

5. 吐水口(パイプまたはスパウト)を取付けます。



①パッキンを外し図を参考に溝の部分を上向きにして本体側に挿入します。
*回転パッキンの場合は、方向はありません。
②吐水口(パイプまたはスパウト)を差込み、ナットを締付けます。



注意 Uパッキンの挿入方向をまちがえたり、傷をつけたりした場合、漏水や回転不良の原因となります。ご注意ください。

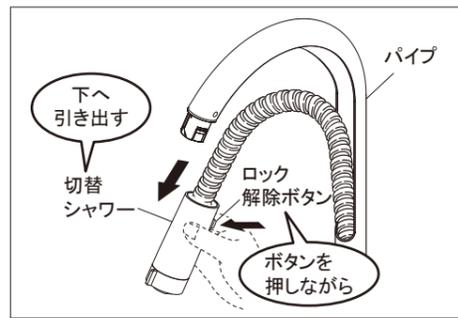
施工後の確認

- ①元栓を開き、各部に漏水がないかを確認します。漏水が発見された場合は、元栓を閉め、漏水する箇所を施工し直してください。
- ②ハンドルを開き、湯水の混合具合および吐水状態を確認します。

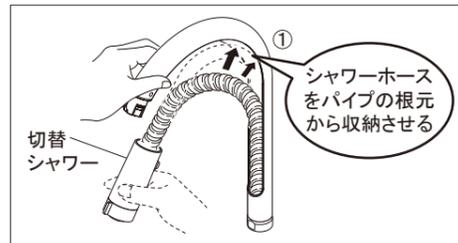
注意 給水・給湯圧力に圧力差があると、温度調整がしにくくなる場合があります。給水・給湯にて圧力差がある場合は、市販の減圧弁を設けるか、湯側・水側のクランクを「水量調節弁付きクランク(別売)」に交換し、水量を調節してください。

使用方法

シャワーホースの使用方法(124-108,124-108-Dの場合)

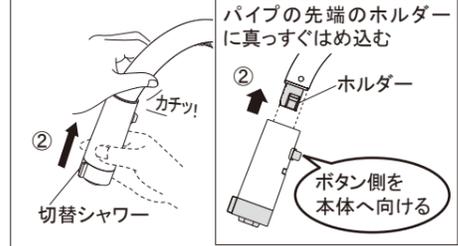


引き出す
切替シャワー後ろ側のロック解除ボタンを押しながら、切替シャワーをパイプから下へ引き出します。

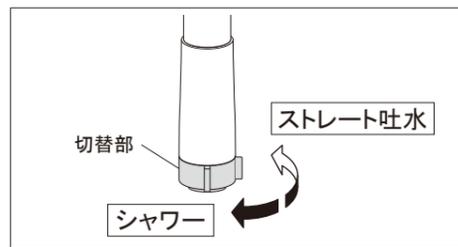


固定する
①シャワーホースをパイプの根元から収納します。
②パイプの先端を手で支えながら、切替シャワーの向きを合わせて、パイプ先端のホルダーに「カチッ」と音がするまで真っすぐはめ込みます。

禁止 シャワーホースは強く引っ張ったり、無理に曲げないでください。折れたり破損したりする恐れがあります。



切替シャワーの操作方法(124-108,124-108-Dの場合)



切替部を右にまわすと「ストレート吐水」が出ます。切替部を左にまわすと「シャワー」になります。